

田原市

あなたと議会を結ぶメッセージ

議会だより

No.72

令和元年7月15日号

今月の瀬美半島の花
「ヒマワリ」



令和元年第2回定例会 (6/10~6/25)

- 定例会で決まったこと..... 2
- 議案一覧・主な質疑..... 4
- 一般質問 (代表質問・個人質問)..... 6

その他

- 政務活動費..... 17
- 議会報告会を開催しました..... 18
- 市政広聴会・図書館で議員と語ろうホリデー..... 19



ホタルの清流を守る戦士たち

藤七原ホタル保存会「せせらぎの会」の皆さんです。
(インタビュー20ページ)

整備スタート！ を確保する予算を可決

令和元年 第2回 定例会 (6月10日～6月25日)

こんなことが決まりました。

市長提出議案 21件

令和元年第2回定例会を6月10日から6月25日まで開催しました。
専決処分の承認・一般会計補正予算など、市長提出議案21件を原案のとおり承認・可決しました。

▷関連4～5ページ

議案第61号財産の無償貸付け

童浦ごども園用地を
明睦学園に貸し付け

童浦ごども園事業用地を運営事業者の学校法人明睦

学園に無償貸し付けすることが決まりました。

童浦ごども園は令和2年4月の開設に向け整備が進められています。



新斎場、 未来を築き、安全性

議案第63号田原斎場新築工事請負契約

田原斎場の新築工事が 開始されます

老朽化の進む田原・渥美斎場に代わる新しい斎場の建築工事が現在の田原斎場の南側で開始されます。新斎場は、最新の排煙処理設備を備えた火葬炉の導入や、待合室5室、キッズスペース、既存の葬祭棟との連絡通路など、人にも環境にもやさしい施設を目指し、整備が進められます。



議案第68号一般会計補正予算第1号

市道交差点に防護柵設置 豚コレラの被害農家への再建支援

市道交差点に防護柵を設置する費用、また、豚コレラの被害農家に対する再建支援のための費用が盛り込まれました。



議案名

52	人権擁護委員候補者の推薦 (伊東 克郎氏)
53	専決処分承認(市税条例等の一 部改正)
54	専決処分の承認(国民健康保険税 条例の一部改正)
55	特別職の職員で常勤のもの給与 及び旅費に関する条例の特例を定 める条例の廃止
56	特別職の職員で非常勤のもの報 酬及び費用弁償に関する条例の一 部改正
57	市税条例等の一部改正
58	放課後児童健全育成事業の設備及 び運営に関する基準を定める条例 の一部改正
59	家庭的保育事業等の設備及び運営 に関する基準を定める条例の一部 改正
60	火災予防条例の一部改正
61	財産の無償貸付け(認定こども園 事業用地)
62	財産の無償貸付け(豚コレラ発生 に伴う患畜等埋却地)
63	田原斎場新築工事請負契約
64	田原斎場電気設備工事請負契約
65	田原斎場火葬炉設備工事請負契約
66	公共下水道赤羽根浄化センターし 尿等受入施設建設(土木・建築) の工事委託に関する協定の締結
67	公共下水道東大浜ポンプ場更新(長 寿命化)の工事委託に関する協定 の締結

平成31年度補正予算

68	一般会計補正予算(第1号)
69	田原福祉専門学校特別会計補正予 算(第1号)
70	後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)
追加議案	
71	田原斎場機械設備工事請負契約
72	災害対応特殊救急自動車(高規格 救急自動車)購入契約

主な質疑

議案に対する
委員会・本会議での
議員の質疑・意見です

議案 No.54

国民健康保険税条例の一部改正を市長

が専決

問 課税限度額を引き上げたことによ
る被保険者への影響は。

答 高所得者層に経済的な負担能力に
応じた税負担をお願いするもの
で、中間・低所得者層の方には増
税の影響はない。

(6/18文教厚生委員会)

議案 No.55

市長給与等に関する条例の特例を廃止

問 市長給与の10%減額措置を廃止す
る理由は。

答 市民の方に恩返しをしたい思いで
10%の給与カットをしてきた。2
期目に入り特殊な条例を続けてい
くことは他の人の給与等に影響が
及ぶため廃止することとした。

問 この条例を廃止することを市民に
説明する責任があるのでは。

答 機会があれば減額措置の廃止につ
いて説明する。

(6/18総務産業委員会)

議案 No.60

火災予防条例の一部改正

問 スプリンクラー設置後の検査方法は。

答 設置業者立ち会いの下、作動状況
を確認し、放水適正圧力などを検
査する。

問 住宅火災予防を啓発する活動は。

答 ひとり暮らし高齢者宅を訪問し、
防災警報器の設置促進に努める。

(6/18総務産業委員会)

議案 No.62

患畜等埋却地の無償貸し付け期間

問 土地の貸し付けを10年とする根拠は。

答 大量の患畜のため埋却物の安定と
貸付期間の長期化を避けることを
考慮した。

(6/18総務産業委員会)

議案 No.66

赤羽根浄化センターし尿等受入施設建設

問 臭気への対策は。

答 し尿等の投入作業を全て建物の中
で行うことにより、臭気が外に漏
れないようにする。

問 周辺環境に影響のある進入道路や
排水対策は含まれているのか。

答 道路と排水の工事は含まれていな
いが、工事の実施に当たっては、
騒音や振動、工事車両通行の安全
などに十分な対策を講じる。

(6/18文教厚生委員会)

議案 No.68

農業用ハウス強靱化緊急対策事業補助金

問 農業用ハウス強靱化緊急対策事業
補助金の対象は。

答 老朽化等により十分な耐候性がな
く対策が必要なガラス温室の補強
等が対象となる。

問 国費の上限を超えて申し込みがきいた場合は。

答 来年度までの3年間の事業のため、来年度に申請していただく。

(6/19 予算決算委員会)

議案 No.68

豚コレラ被害農家の再建支援

問 再建支援等交付金の算定方法は。

答 畜舎および畜舎に係る土地等に係る固定資産税2カ年分相当額。

(6/19 予算決算委員会)

議案 No.68

交通安全のための防護柵設置

問 設置される防護柵は、どのようなものか。

答 駅前通り線に設置されている高さ80センチメートルほどの金属製ガードパイプを標準として検討している。

問 防護柵を設置する交差点の選定方法は。

答 歩道つきの道路の交差点で車両防護柵の設置がない箇所、特に保育園児の散策ルート、小学校通学路として利用される箇所を選定している。

(6/19 予算決算委員会)

議案 No.69

田原福祉専門学校校長の交替

問 職員人件費が大幅な減額となったが、校長の任用の方法は。

答 前校長は、困難な業務にも従事してもらったため、特定任期付職員としての採用だった。現校長は、従来の職務に従事する非常勤特別職として任用している。

問 校長が週2日の勤務で、学校運営に影響はないのか。

答 現時点では影響を感じていない。運営に支障をきたすことがないよう、状況をしっかりと見極め、検討していきたい。

問 前校長を期待を持って任命したところと結果のギャップを市長はどう思っているか。

答 一生懸命検討したが、結果が出せなかったことは、残念。私たちは常に前を見ている。

(6/19 予算決算委員会)



討 論

議案に対する
本会議での議員の
賛成・反対の表明です

議案 No.55

市長給与等に関する条例の特例を廃止

反対 (岡本重明)

市長給与10%カットは、4年前の初当選につながった大きな公約の一つ。今回は公約していない、副市長等の給与に影響するなどは責任転嫁の発言。約束を翻す市長を許す市議会や市政は、市民から信用されない。市長の言葉は重い。

賛成 (村上誠)

本条例により市長の給与は報酬審議会の答申どおりになる。厳しい財政状況ではあるが、議会が市長の給与を議論することは市長の政治判断を著しく阻害するものであり、市長自らの判断を尊重すべきと考える。

反対 (廣中清介)

給与10%カットの廃止を公約しないまま無投票で再選された状況を鑑みると、

賛否が分かれた議案

本会議では、議案に対して一人ひとりの議員が賛成・反対の意思表示をします。今定例会では、以下の議案の賛否が分かれました。賛成・反対の討論はこのページに掲載しています。また、その他の議案は、全会一致で可決しました。

議案番号	議案名 (一部省略)	結果 (賛成:反対)	岡本 重明	赤尾 昌昭	鈴木 和基	廣中 清介	古川 美栄	長神 隆士	内藤喜久枝	辻 史子	小川 貴夫	岡本 禎稔	平松 昭徳	太田由紀夫	内藤 浩	村上 誠	仲谷 政弘	中神 靖典	森下田嘉治	大竹 正章
55	特別職の職員で常勤のもの の給与及び旅費に関する 条例の特例の廃止	可決 (15:2)	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ×…反対 —…議長は議決に加わらない

廃止が市民の信認を得られているとは考えにくい。在職期間中は10%カットと定めた条例を、同じ市長の在職期間中に廃止できるようでは、全てに歯止めがかからなくなってしまふ。

ここが聞きたい

一般質問



議会ホームページで本会議（一般質問）の映像を見ることができます。

www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/

田原市議会

インターネット議会中継

生中継・録画中継

代表質問

市政運営の基本姿勢は

財源確保に努め、行政サービスの適正水準を確保しつつ、歳出抑制も図り、将来を見据えたまちづくりを行っていく



自由民主党田原市議団
中神 靖典

市政運営の基本姿勢について

- 問** スマート農業の今後の取り組みは。
- 答** 農家や関係機関と連携し、ICTなどの先端技術の活用や導入に必要な支援を行うとともに、これらを用いた新たな担い手の育成も応援していく。
- 問** 温泉掘削を進める中で、どのように地域・事業者を巻き込み、観光誘客や地域活性化を図るのか。
- 答** 昨年度、渥美商工会・旅館組合・市により「温泉開発に関する準備会」を立ち上げた。今年度は、その組織に、田原市商工会・観光ビューロー・地域などもメンバーに加えて「(仮称)温泉開発検討委員会」を設置し、観光地としてのブランド力や観光魅力度の向上など、地域経済の活性化を図るための検討を進めていく。

- 問** 小中山地区津波避難施設整備の内容とスケジュールは。
- 答** 3カ所の津波避難タワーの整備と、小中山総合会館の屋上を避難場所として活用するための施設改修を、令和2年度から事業着手できるように調整を進め、できる限り早期の完成を目指す。
- 問** 厳しい財政状況が続くと想定されるが、今後の財政運営についての基本方針は。
- 答** 新たな企業誘致や地場産業の振興による税源の涵養に取り組み、国・県の補助制度や市債の有効活用、不用財産の処分など財源の確保に努める。また、行政サービスの適正水準を確保しつつ、歳出抑制も図り、将来を見据えたまちづくりを行っていく。

代表質問

幹線道路の整備やその他の道路整備の 取組方法について

「渥美半島を縦貫する信号の無い道路」の早期実現を目指し、
県と共同で行う調査研究や要望活動をしっかり進める



自民クラブ
仲谷 政弘

渥美半島田原市を元気にするための取 り組みの推進について

- 問** 幹線道路の整備やその他の道路整備の取り組みは。
- 答** 「渥美半島を縦貫する信号の無い道路」の早期実現を目指し、県との共同調査研究や要望活動をしっかり進める。また、国道259号・国道42号などの渋滞解消、通学路等の安全対策など、県に対し要望活動を進めるとともに、市道についても計画的に維持補全や改修を図る。
- 問** 子育て環境・教育環境の充実に向けての重点的な取り組みは。
- 答** 児童虐待の早期発見のため、市役所内に「子ども家庭総合支援拠点」を設置する。保育は、延長保育や休日保育等に加え、今年度から「病後児保育」の設置に取り組む。教育環境は「外国語教育」「プログラミング教育」等充実を図り、地域一体となった「コミュニティスクール」の創設など「ふるさと教育」にも力を入れる。

- 問** 行政運営に当たり、どのようにかじ取りをしているのか。
- 答** 財政状況は大変厳しい状況にあるが、企業誘致や国・県の補助制度の活用を図るとともに、公共施設の適正化など行財政のスリム化に取り組む。
- 問** 豚コレラ防疫及び養豚事業者の再建に対する考えは。
- 答** 市は、主体となって防疫対策を実施する県に協力する。また、殺処分農家に対し、独自の交付金を交付するとともに、地元農家の声を国・県にしっかり届ける。



- P 6 自由民主党田原市議団 中神靖典 市政運営の基本姿勢について
- P 7 自民クラブ 仲谷政弘 渥美半島田原市を元気にするための取り組みの推進について
- P 8 市民クラブ 平松昭徳 所信表明の重点的な取り組み等について
- P 9 長神 隆士 再生可能エネルギー導入の取り組みと課題について
- P 8 辻 史子 農業用ため池の管理保全について、ヘルプカードの作成について
中高年のひきこもり「8050問題」について
- P 10 廣中 清介 中心市街地の更なる活性化への取り組みについて
- P 11 岡本 禎稔 地域共生社会の実現について
- P 10 内藤喜久枝 田原市における健康寿命の延伸対策について
- P 12 小川 貴夫 中学校の新たな取り組みについて
- P 13 内藤 浩 本市における障害児支援のあり方について
- P 12 鈴木 和基 本市の「ふるさと納税」について
- P 14 岡本 重明 「暮らしやすいまちづくり」における人口増の計画について
財源確保について、移動制約者である交通弱者にとっての暮らしやすいまちについて
- P 15 森下田嘉治 豚コレラについて、野生イノシシ根絶と有害鳥獣対策について
- P 14 古川 美栄 交通安全対策について、防犯対策について

代表質問

公共施設の整備統合に向けた市の方針は

今年度策定の個別施設計画で検討しながら、市民ニーズにも対応した公共施設の適正化に取り組む



市民クラブ
平松 昭徳

所信表明の重点的な取り組み等について

- 問** 商工業者支援策と具体的な観光振興策は。
- 答** ブランド認定や6次産業化による特産品の創出や販路形成を支援し、生産性向上や魅力づくりに向けた取り組みを後押ししていく。また、伊良湖地区での温泉開発、サンテパークたはらの魅力向上やサイクルツーリズムの推進、「たはら巡り～な」や「どんぶり街道」など、事業者と一体となって取り組んでいく。
- 問** 介護保険事業の運営が東三河広域連合に移管し1年経過したが、本市への効果と課題は。
- 答** 効果は、地域密着型サービスが、東三河全域で利用可能となったことである。課題としては、新たに通所型サービス事業を実施したが利用が少なく、一層の啓発活動が必要と認識している。

- 問** 田原、赤羽根、福江市街地拠点の都市基盤整備の方向性は。
- 答** 田原市街地は、中心市街地全体を回遊できる仕組みづくりを市民と一緒に取り組んでいく。赤羽根市街地は、組合施行の区画整理事業による住宅用地の整備やサーフタウン構想に掲げる弥八島周辺の整備を進める。福江市街地は、ショップレイ周辺の整備構想を策定し、利便性が高く、魅力的な市街地になるように検討していく。
- 問** 公共施設の整備統合に向けた市の方針は。
- 答** 今年度策定の個別施設計画で、総量の圧縮、長寿命化、機能の最適化、民間活力の導入などを検討しながら、市民ニーズにも対応した公共施設の適正化に取り組む。

ヘルプカードの作成について

- 問** ヘルプカードの導入状況は。
- 答** 本人、家族にとって安心につながるものであり、本年中に作成し、配布できるよう取り組む。
- 問** ヘルプカードをヘルプマークとセットで配布するのか。
- 答** セットで配布する。ヘルプカードは市ホームページからダウンロードすることもできるようにしたいと考えている。
- 問** 「特定農業用ため池」の決壊に関する情報や円滑な避難を確保する上で必要な事項等の周知を図り、住民の防災意識の向上を目指す。管理上必要な措置を講じる責務が明確化されたと捉えている。
- 問** 「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」の成立を受け、市の役割は。
- 答** 「特定農業用ため池」の決壊に関する情報や円滑な避難を確保する上で必要な事項等の周知を図り、住民の防災意識の向上を目指す。管理上必要な措置を講じる責務が明確化されたと捉えている。

ヘルプカードの導入状況は

本年中に作成し、配布できるよう取り組む



辻 史子
公明党田原市議員

有害物質が含まれるものもある使用済み太陽光パネルへの対応は

産業廃棄物処理業者への情報提供や埋め立て方法等をまとめたガイドラインを周知していく



長神 隆士
自民クラブ

再生可能エネルギー導入の取り組みと課題について

問 積極的に進められている再生可能エネルギー導入の取り組み状況は。

答 太陽光発電導入率は、公共施設では令和4年度の目標値40%に対し平成30年度は29%、持ち家世帯では令和4年度の目標値15%に対し平成29年度は14.3%。本年度から始まった燃料電池、蓄電池及び電気自動車等充給電設備を導入する個人への補助金は5月末時点で計20件の申し込みがあった。

問 本年11月以降に太陽光発電の余剰電力買取制度の買取期間が満了となり、価格下落が予想されているが、その影響は。

答 蓄電池等を利用した自家消費を含め、複数の選択肢から選べるため、引き続き太陽光発電施設を利用していただけるものと考え、影響は少ない。

問 役目を終えた使用済み太陽光パネルの中には鉛、セレン、カドミウムなどの有害物質が含まれるものもあるが、その対応は。

答 パネルメーカーや排出事業者から産業廃棄物処理業者への情報提供や埋め立て方法等をまとめた環境省のガイドラインを関係者に周知していく。

問 本市の再生可能エネルギーの方向性は。

答 地球温暖化対策として温室効果ガスの排出のさらなる削減が必要となり、重要性を増すため今後も導入を促進していく。



中高年のひきこもり「8050問題」について

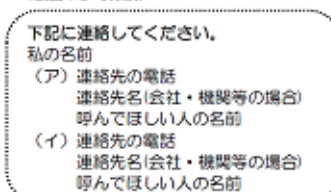
問 中高年のひきこもりの実態を受け身でなく積極的に把握すべきでは。

答 当事者の自宅を訪問するアウトリーチ型支援や生活ささえあいネット事業において対応する。

(表面：東京都標準様式)



(裏面：参考様式)



もっと多くの花で通りの連続感を演出できないか

水やり等の管理体制も含め検討している



廣中 清介
無派不撓クラブ

中心市街地の更なる活性化への取り組みについて

- 問** 今年度から進められるまちなか案内板やサイン看板の設計に市民の声は反映されるのか。
- 答** 田原中部地区景観まちづくり検討会にて意見を聞きながら進めていく。
- 問** 軒先ベンチ提供事業についてはどのように実施するのか。
- 答** まちなか賑わいづくり実行委員会を実施主体とし、歴史ウォーキングトレイル沿いを中心に店舗等での設置を想定している。
- 問** ララグランに導入された電動アシスト付レンタルサイクル「LaLaチャリ」の主たるターゲットと効果は。
- 答** 主に鉄道で訪れる観光客をメインターゲットにした観光利用を目的としている。新しい2次交通として活用でき誘客効果を高めるものとする。
- 問** 案内板や軒先ベンチ、レンタルサイクルに四つ葉をあしらうことで「幸せの四つ葉プロジェクト事業」をサポートできないか。
- 答** 関係団体と検討させていただく。

- 問** 「シンボルロード花いっぱい事業」において、新たな取り組みは。
- 答** 手筒花火の筒を使った花壇を、商店や民家に飾ってもらえるよう検討している。
- 問** 三河田原駅から萱町交差点までは、ハンギングフラワーだけとなっている。もっと多くの花を使うことで、駅からはなとき通りまでの連続感を演出できないか。
- 答** この区間については、花や緑がもっとあった方がいいとの意見もある。水やり等の管理体制や維持管理費用を含め検討している。



- 問** 健康寿命延伸のために市民への健康づくりが重要と思うが、具体的な取り組みは。
- 答** 食生活改善のための講座やウォーキングキャンペーンなどの各種イベントや一たはら健康マイレージ事業」を実施し、参加者は年々増加している。
- 問** 新規事業「健幸アンバサダー」の目的と目標は。
- 答** 健康に関する生きた情報を広げ、健康な生活に活かしていたくために、1年間で100人程度の健幸アンバサダーを養成する。
- 問** 30年以上続いた健康カレンダーをなぜ廃止したのか。復活の可能性は。
- 答** 掲載すべき情報量が増大したため、ブック形式の情報誌に変更した。今後、さまざまな意見を踏まえ、判断していく。
- 問** 生活習慣病等の疾病予防と重症化予防の取り組みは。
- 答** 検診の受診率向上に向け、複数のがん検診等を同時に受けられるセット検診や休日検診を実施したり、託児付き検診日も設けている。また、必要な方には保健師等が訪問指導を実施している。特に昨年度から糖尿病性腎症の重症化予防に取り組んでいる。

田原市における健康寿命の延伸対策について

健康カレンダーを廃止したが、復活の可能性は

今後、さまざまな意見を踏まえ、判断していく



内藤 喜久枝
かがやき

地域共生社会の実現に向けた市民の参画を促す取り組みは

支えあい意識の醸成を深め、誰もが地域活動に参加しやすい環境の整備に努める



岡本 禎稔
自由民主党田原市議団

地域共生社会の実現について

問 本市における地域包括ケアシステムの構築の現状は。

答 市内に高齢者支援センターの設置や生活支援コーディネーターによるネットワーク構築、認知症初期集中支援チームを設置し体制整備を図っている。

問 地域包括ケアシステムの強化に向けた取り組みは。

答 地域に共通した課題の明確化を図り、高齢者個人に対する支援の充実と、社会基盤の整備を同時に進めていく。

問 地域共生社会の実現に向けた基本的な考えは。

答 我が事・丸ごとの地域づくりと包括的な支援体制の整備を重点的に図ることにより、地域共生社会の実現を目指す。

問 我が事・丸ごとの地域づくりについて、今後どのように進めていくのか。

答 担い手などの人材を育成する取り組みをさらに進め、縦割りや他人事にならないよう、包括的な相談支援体制の構築を進める。

問 地域共生社会の実現に向けた市民の参画を促す取り組みは。

答 地域における助け合い、支えあい意識の醸成を深め、誰もが地域活動に参加しやすい環境の整備に努め、人材の掘り起こしや市民活動・ボランティア活動の活性化を促す。

問 介護予防対策の内容と推進方法は。

参加が少ない男性の介護予防教室への参加を働きかけるとともに、地域の実情に合わせた住民が集まる通いの場づくりを進める。また、介護予防の担い手となる介護予防推進員を毎年10人程度養成していく。

問 認知症対策には予防も重要だと思いが。

企業やJ A等と連携しながら、働き盛りの世代を中心に認知症の正しい知識の普及・啓発を進め、高齢になっても役割を持ち、社会参加ができる機会を増やすよう努めていきたい。



部活動の外部指導員を雇用し、中高の6年間を通して指導できないのか

連携型中高一貫教育という特色ある取り組みの中での活用方法を研究していく



小川 貴夫
自民クラブ

(7月1日付で「自由クラブ」になりました。)

中学校の新たな取り組みについて

- 問** 福江中学校の全ての教員に福江高等学校との兼務発令が出されているが、交流する教員が増えるのか。
- 答** 全ての教員が少なくとも一回は、学校行事等で交流することを目標にしている。
- 問** 部活動の外部指導員を雇用し、中高の6年間を通しての指導は可能か。
- 答** 連携型中高一貫教育という特色ある学校の取り組みの中での活用方法を研究していく。
- 問** コミュニティ・スクール（※）の取り組みとして、トライアスロン部やサーフィン部のように地域の自然を活かした“新たな部活動”の設置を働きかける考えは。
- 答** コミュニティ・スクールの学校運営協議会で協議され、学校も設置可能と判断すれば、学校や地域の考えを尊重したい。

- 問** コミュニティ・スクールの学校運営協議会に福江高等学校の校長が入っているが、協議される内容は、高等学校のことも含まれるのか。
- 答** 連携型中高一貫教育の取り組みと関連した有効な事項であれば、協議の対象となる。
- 問** 連携型中高一貫教育を推進している福江高等学校もコミュニティ・スクールを実施するように働きかける考えは。
- 答** 福江高等学校からの要望があれば、支援・協力をしていきたい。

(※) コミュニティ・スクール：学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組み

今後のふるさと納税の狙いは

返礼品による地域産業の活性化、交流人口・関係人口の拡大など多方面でこの制度を活かしていく



鈴木 和基
自民クラブ

本市の「ふるさと納税」について

- 問** 過度な返礼品競争など、国の方針を守らない自治体があり社会問題となったが、本市のこれまでの取り組み状況は。
- 答** 国の方針を順守しつつ、ポータルサイトへの加入やクレジット決済の導入など、寄附者の利便性向上に取り組んできた。その結果、寄附件数は着実に増加している。
- 問** ふるさと納税制度本来の理念とはかけ離れ、返礼品の魅力そのものが自治体を選択する基準となっている現状をどう考えるか。
- 答** 本市には「渥美半島たはらブランド」認定品をはじめとして魅力ある地場産品が多くある。生産地である田原市の魅力をさらに発信し、応援していただくことを目指す。
- 問** 寄附金の使い道12項目の見直しは。
- 答** 本市の政策や寄附者の意向などに配慮し、今後必要に応じて目的項目の見直しを図っていく。

障害のある子どものワンストップの相談体制が必要では

ライフステージに応じた相談支援体制を構築し、切れ目のない支援を行う



内藤 浩
自民クラブ

本市における障害児支援のあり方について

問 平成30年度末までと設置目標時期が過ぎている医療的ケア児（※）支援の協議の場の設置状況は。

答 既存の保健・医療関係者の会を協議の場と位置づけ取り組んでいる。

問 障害児等支援事業の取り組みは。

答 共生社会の実現に向けた取り組みである障害児理解啓発事業やペアレントプログラム研修など保護者支援を実施している。

問 障害のある子どもの「児童から就労」までワンストップの相談体制が必要では。

答 ライフステージに応じた相談支援体制を構築し、最初に相談を受けた支援機関が適切につなぎ、切れ目のない支援を行う。

問 親子交流館「すくっと」内に設置した田原市子育て世代包括支援センターで、子どもの障害に対する相談があった場合の対応は。

答 年齢や相談内容によって支援機関が異なるため、まずは丁寧な傾聴を行い、関係支援機関に連絡を取り、確実につなぐ体制整備に努める。



（※）医療的ケア児：医療技術の進歩を背景としNICU（新生児特定集中治療室）等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸入や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童のこと



問 今後のふるさと納税の狙いは。財源獲得のためだけでなく、返礼品による地域産業の活性化、交流人口・関係人口の拡大など多方面でこの制度を活かしていく。

「田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における農業の位置づけは

次期総合戦略に位置づけ、しっかり取り組んでいく



岡本 重明
みんなの党田原市議団

暮らしやすいまちづくりについて

- 問** 「地域特性を活かした暮らしやすいまち」を実現するに当たっての課題の中で最大のものは。
- 答** 課題は、相互に関連しており、「田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」により総合的・計画的に人口増加策に取り組んでいる。
- 問** 地域の特性を活かした暮らしやすいまちをつくるためには、農業の発展が必要であり「田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における農業の位置づけを強化していく必要があると考えるが、市の見解は。
- 答** 農業産出額日本一を誇る農業関連の施策も次期総合戦略に位置づけ、しっかり取り組んでいく。

- 問** 今後厳しい財政状況が予測されるが、財源確保に対する市の方針は。
- 答** 税収の確保が最も重要と認識し、農業をはじめとする地元基幹産業の振興や企業誘致施策に取り組む。また、国・県補助金の獲得、市債・基金の有効活用を行うとともに事業の内容や実施時期を見直し優先的に取り組むべき事業の財源を確保する。歳入増加、歳出抑制の両面に対応していく。
- 問** 現状の伊良湖岬から三河田原駅及び豊橋駅までの幹線乗合交通の運賃・ルート・便数について市の見解は。
- 答** 長距離乗合運賃について高額になっていることは認識している。バスの伊良湖支線は便数が少ないため今後検討していく必要があると考えているが、バスの伊良湖本線と鉄道の渥美線は必要なサービスレベルに達している。

交通安全対策について

- 問** 高齢者の運転免許証の保有状況は。
- 答** 65歳以上で1万1972人、70歳以上で7万708人、75歳以上で4269人となっている。
- 問** 高齢運転者運転免許証自主返納支援制度の効果は。
- 答** 自主返納者数は、平成28年が95人、平成29年が210人、平成30年が184人と増加しており、一定の効果を上げている。
- 問** 高齢者の移動手段の確保についてどう考えているのか。
- 答** 交通施策、福祉施策、コミュニティ施策など、総合的に移動手段の確保を充実していくことが大切である。

総合的に移動手段を充実していく

高齢者の移動手段の確保は



古川 美栄
自由民主党田原市議団

養豚農家に対する情報発信の状況は

防疫ニュースでの周知や勉強会での情報・意見交換を行っており、今後も国・県と調整を図りながら情報発信していく



森下 田嘉治
自由民主党田原市議団

豚コレラについて

- 問** これまでに行ってきた防疫対策は。
- 答** 国の調査結果に基づき、消毒の強化と小動物・昆虫の駆除を重点的に取り組んでいる。
- 問** 養豚農家に対する短期的・長期的な支援方策は。
- 答** 短期的には、経営再建のための支援強化などを、長期的には、養豚場の設備面の防疫強化のため畜産クラスター事業の活用支援に加え、侵入防止柵等整備費助成制度の充実を国・県に要望している。
- 問** 養豚農家が安心感を高め、適切な行動をとるためには、情報の発信が重要だが、市の対応状況は。
- 答** 防疫ニュースなどで情報発信したり、勉強会を開催し地域関係者と国との間で共通認識を共にし、情報・意見交換を行っている。今後も国・県と調整を図りながら適切な情報発信に努める。

野生イノシシ根絶と有害鳥獣対策について

- 問** 野生イノシシから農業被害を防ぐ電気柵の設置状況と根絶に向けた対策の状況は。
- 答** 電気柵の設置補助は、昨年度52件の満額執行、本年度は予算を増額し現在6割程の執行がある。根絶に向けては、わなの設置数を65カ所から85カ所に増加した。
- 問** 捕獲実施者との情報共有や連携の状況は。
- 答** 専門的な見地から捕獲に対する提案をいただいたり、職員が捕獲場所に赴き情報共有を行っている。



防犯対策について

- 問** 通学路における緊急合同点検の結果は。
- 答** 危険・要注意箇所として21カ所の提出があった。防犯灯や防犯カメラの設置要望、街路灯の復旧、雑木の伐採など進めている。
- 問** 今年スタートした地域見守りネットワークの現在の状況は。
- 答** バッジ等を田原警察署と合わせて5月末現在323名の方に交付している。多くの市民に趣旨、内容を伝えて活動を広げていきたい。



5月20・21日
総務産業委員会研修会



田原市における観光地域づくりや公共交通政策、幹線道路の整備についての研修会を行いました。

5月17日
新任議員現地視察



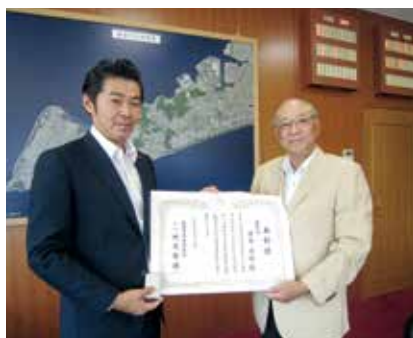
新任議員5名が津波避難マウンドほりきり広場などを視察しました。

4月11日
東海市議会議長会定期総会



三重県津市で開催された第102回東海市議会議長会定期総会に大竹正章議長、森下田嘉治副議長が出席しました。

6月11日
渡会清継前議長表彰



市議会正副議長として4年間市政の振興に努めたとして、全国市議会議長会から表彰されました。

6月11日
全国市議会議長会定期総会



東京都千代田区で開催された第95回全国市議会議長会定期総会に大竹正章議長が出席しました。

5月28日
東三河広域連合議会臨時会



岡本禎稔議員が、みらい広域委員会委員長に選出されました。



一般質問の録画がスマートフォン・タブレットで見られます。

お知らせ information

令和元年第3回定例会（9月議会）会期
8月30日（金）～9月24日（火）

日	月	火	水	木	金	土
8/25	26	27	28	29	30	31
					本会議 (議案審議)	
9/1	2	3	4	5	6	7
		本会議 (一般質問)			文教厚生委員会 総務産業委員会	
8	9	10	11	12	13	14
			予算決算委員会			
15	16 (敬老の日)	17	18	19	20	21
		予算決算委員会		議会運営委員会 ・同協議会		
22	23 (秋分の日)	24	25	26	27	28
		本会議 (採決等)				

10:00 開会
(6日 総務産業委員会…13:30開会)
(11～13日、17日 予算決算委員会…9:00開会)

平成30年度政務活動費

■ 政務活動費って？

議員が調査研究、その他の活動をするために必要な経費の一部として交付される費用です。

田原市議会では、1人当たり、年間24万円（月額2万円）を会派に交付し、領収書を添付した収支報告書が提出されています。

年度ごとに精算し、残額がある場合は、市に返還しなければなりません。

東三河の各市の状況は…

(議員1人当たりの交付額)

豊橋市議会：年間 108万円

豊川市議会：年間 27.6万円

蒲郡市議会：年間 29万円

新城市議会：年間 15万円



■ 平成30年度収支報告 (平成30年4月1日～平成31年2月2日)

会派名	所属議員数	交付額(円)	支出額(円)	返還額(円)
自民クラブ	11人	2,420,000	2,628,639	0
市民クラブ	4人	880,000	763,222	116,778
無所属クラブ	1人	220,000	240,483	0
公明党 田原市議団	1人	220,000	223,014	0
日本共産党 田原市議団	1人	220,000	43,727	176,273

(平成31年2月3日～平成31年3月31日)

会派名	所属議員数	交付額(円)	支出額(円)	返還額(円)
自由民主党 田原市議団	7人	140,000	124,189	15,811
自民クラブ	5人	100,000	61,232	38,768
市民クラブ	2人	40,000	25,762	14,238
公明党 田原市議団	1人	20,000	20,959	0
無派不撓 クラブ	1人	20,000	930	19,070
かがやき	1人	20,000	20,251	0
みんなの党 田原市議団	1人	20,000	0	20,000

詳しい収支は、田原市議会ホームページをご覧ください。

議会報告会

4月22日(月):田原中部市民館・堀切市民館 4月23日(火):六連市民館・高松市民館・泉市民館



3月定例会の報告会に、延べ111名の方が参加してくださいました。

市民の声

あなたも自分の声を
議員に伝えて
みませんか？

(主な質疑・意見)

- 市債の額と、その返済計画はどのようになっていのか。また、法人市民税率改正による本市への影響はどうか。
- 空き家対策について家屋の取り壊しで補助は出るが、更地になると固定資産税が上がってしまう。固定資産税の増加分の補助は出ないのか。
- 市長は1期目から「道路」と言っているが予算項目にあがっていないのは動きがないからなのか、国の管轄事業だからなのか。議会としてはそういう状況に対して動きがあるのか。
- 赤羽根浄化センターにし尿等受入施設を整備して公共下水と共同処理することのことが、使用料などの料金体系についてどのように考えているのか。
- 泉中学校が再来年学校統合により廃校になる予定だが、今後の施設利用は考えられているか。
- 馬伏地区は37戸と戸数も少なく各種役員の手がなくて困っている。戸数の少ない中でも地域を維持する方法や、少人数でもうまく役をこなせる方法等参考事例があれば教えてほしい。
- 斎場整備費の中に市内の霊柩車運行費用や渥美地域への霊柩車増便等の費用は入っているか。

アンケートの自由意見から

高松地区の町会も、議会報告会に参加してほしい。

新築内を受け付けることで、充実した会になると思う。

一般の参加が少ない。議会に(余り)興味がないのね!!

おつたわさした。今後お議会活動に力をいれたいから下さい。

田原市議会「市政広聴会」 スタート！

市民の皆さんから広くご意見をお聴かせいただくため、「市政広聴会」を始めます。
ご意見、ご提案などを施策に反映する議会の窓口です。お気軽にどうぞ！

- **対 象**： 5名以上で共通の活動をしている市民及び団体（単一事業者は除く）
例）農業・商工団体、社会教育団体、福祉団体など
- **日 時**： 平日（月曜日から金曜日）午前9時から午後5時までの希望する日時
- **場 所**： 田原市役所 南庁舎5階
- **申込方法**： 希望日の1週間前までに
 - ①代表者の氏名、連絡先、人数
 - ②団体としての活動内容
 - ③希望日時を電話またはFAX、電子メールでお申し込みください。



- 今後、日時や場所を広げていく予定です。
- **申込み・問い合わせ先**： 田原市議会事務局
TEL0531-23-3533 / FAX0531-22-5952 / E-mail:gikai@city.tahara.aichi.jp

図書館で議員と語ろう ホリデー

- **日時**： 8月4日（日）午後1時から午後3時まで
- **会場**： 田原市中央図書館 くつろぎコーナー

市民の皆さんに「開かれた議会」を目指して、「図書館で議員と語ろうホリデー」を開催します。

お気軽に中央図書館くつろぎコーナーへお越しください。

事前申込みは不要です。

- **問い合わせ先**： 田原市議会事務局
TEL0531-23-3533 E-mail: gikai@city.tahara.aichi.jp

休日のひと時
議員と話してみませんか





インタビュー

Vol.22 藤七原ホタル保存会
「せせらぎの会」のみなさん

ホタル輝くせせらぎを未来へ

—どんな活動をされていますか。

ホタルの餌カワニナの飼育から、年二回ずつの清谷川の草刈りやゴミ拾いまで、ホタルの生息環境を保つための活動を行っています。

また、ホタル観賞の時期に合わせて、衣笠市民館で勉強会と観察会を開催しています。

—いつごろから活動されていますか。

何十年前前から個人的な保護活動があり、それを引き継ぐ形で平成12年に「せせらぎの会」が発足しました。

—活動で楽しいこと、大変なことは何ですか。

楽しいことは、やはり自分たちの活動の成果として、光るホタルを観ることです。

大変なことは、草刈りやゴミ拾いなどの保全作業全般です。会員の高齢化で、川に下りたり上ったりすることが厳しくなっています。



—今後の活動について、目標などあれば教えてください。

とにかく現状維持が自分たちの使命だと考えています。放流を止めてから10年以上になります。毎年ちゃんと繁殖しています。ホタルは環境のバロメーター。一度いなくなったら終わりだと思っています。

—その他に何かあればお願いします。

ホタルの光は求愛のためですが、余計な光はその妨げとなります。藤七原ではホタルを守るために一部の街路灯を消すほどですが、車で川まで来る方が後を絶ちません。衣笠市民館等に駐車し歩いて川まで来ていただけると助かります。

また、白谷の石灰岩採掘場に溜まった水が清谷川に汲み出されていますが、この水に異変があるとホタルの生息環境が保てなくなりますし、水道水として使われている藤七原の地下水にも影響が出ると思われます。絶対にそのようなことが起こらないよう願っています。



(聞き手：廣中清介) 令和元年6月取材

発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

☑ <http://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ gikai@city.tahara.aichi.jp



社会福祉法人 福寿園

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園
特別養護老人ホーム 田原福寿園
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
ケアハウス パシフィック
特別養護老人ホーム 渥美福寿園
地域密着型複合福祉施設 花の里

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3
TEL (0531)27-0008 FAX(0531)27-0828

募集

パートさん

しその葉の摘み取り作業

内職さん

しその葉の結束・パック詰め



(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅:TEL0531-37-0447

※財源確保のため、有料広告として掲載しています。広告については、田原市議会が推奨するものではありません。